人とまちをつなぐ物語り

山口県 長門市

「お迎えにあがりました！」運転席のタツヤが顔を出す。早朝、ツネオの家の前に「のろっちゃ」が静かに停まった。

予約制のデマンド交通は、今や田舎の大事な足だ。ツネオは笑いながら杖を付き乗り込む。「昔は、風に吹かれてバスを待ったもんだがなぁ」
「今は家まで迎えに来ますからね」とタツヤ。
町の人々の声で始まった「のろっちゃ」は、少しずつ信頼を集めてきた。けれど、ツネオは窓の外を見つめて言う。
「ここは変われた。でも、まだ声が届いてない場所もある」
「ええ。だから僕らが走り続けるんです」
エンジン音が静かに道を満たす。「のろっちゃ」は今日も誰かの小さな声に応えるため、走っていく。
長門市では持続可能な地域公共交通を構築し地域住民の利便性を向上させて、明日へつなぐための取り組みをしています。

しかし、これは長門市だけでは描ききれない、大きな物語です。
そこで、ともにページをめくってくださるパートナーを、私たちは求めています。
地域と企業が手を取り合い、一つの未来を創る――そんな「物語の共演者」として、貴社のお力をお貸しいただければ幸いです。
どうぞご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

寄附金を活用させていただく事業

1. 地域公共交通推進事業

公共交通がなく不便な地域において、住民の生活交通手段を確保するため、利用者のニーズに応じて運行経路やダイヤ等を柔軟に対応したデマンド交通を運行します。

2. 福祉バス運行事業

高齢者又は障害者を構成員とする団体および自治会その他公共的な団体が、各種行事等に参加する場合に借上げる福祉バスの経費を補助し、社会参加の促進を図ります。

3. 福祉タクシー助成事業

介護が必要な在宅高齢者の日常生活の利便性の向上、社会参加の機会を拡大させ、生涯“健幸”に暮らせるまちづくりを目指します。